

編集後記

『信大国語教育』第三十号をお届け致します。

本号は、「学会三十周年記念号」ということで、新しい企画を複数立てました。まずは本学会会長の西一夫氏による巻頭言、次に特集として本誌の総目次、そしてかつて本学に在籍された市澤静山氏、藤森裕治氏、山本亮介氏からの特別寄稿です。なお、特別寄稿には、第二十九回大会でご講演いただいた塚田勝郎氏による論文もあります。また、元本学教員である岩男孝哲氏、友田義行氏には、研究論文をご投稿いただきました。これらに加え、研究論文では、本学卒業生の小長谷祥治氏、松崎史周氏、柄澤有紀氏、市ノ瀬有香氏、上條示雄氏の小長谷祥治氏、松崎史周一夫氏（澤田浩文氏（本学大学院生）、戸塚拓也氏（本学卒業生）との共著）、小林比出代氏、杉山俊一郎氏、徳井厚子氏、八木雄一郎氏による論文を掲載することができました。また、小林氏による研究ノートも収載されています。さらに、本学卒業後、長野県内で教鞭をとられている大杉愛美氏、小野優氏、小山優太氏、宮島卓朗氏、本学国語教育コースの現役学生である高橋由輝氏、林涼真氏、三浦のの香氏、加藤就氏による短文も収められています。

巻頭言にもありますように、本学会は今年度をもって休会、本誌は今号をもって休刊となります。三十年という長い間、多くの方々のご参加とご支援によって創り上げられてきたこの会の活動を一旦閉じることには、やはり一抹のさみしさも覚えるところではありますが、何よりも、本学会に携わってくださったすべてのの方々のご活躍、ご発展を心よりお祈り申し上げる次第です。

最後になりましたが、投稿者の皆様、査読者の皆様、そして編集作業に携わっていただいた大学院生のおふたりに心より感謝申し上げます。

（八木雄一郎）

〔学会誌編集委員〕

澤田浩文 三代香奈子

令和3年3月20日 印刷
令和3年3月30日 発行

信大国語教育 第30号

編集・発行 信州大学国語教育学会
代表者 西 一夫

〒380- 長野県長野市西長野 6-0
8544 信州大学教育学部国語教育コース内
信州大学国語教育学会事務局

印刷所 長野市中御所 1-26-12-4
(有) 丸山印刷

TEL 026-226-0886(代)